

南薩教育事務所だより

令和7年3月発行

「地区教育論文から思うこと」

総務課長 上戸 雄次

先日、南薩地区教育論文の事務職員の論文を拝見する機会があった。日頃の学校事務の業務を通して、業務の効率化につなげる取組、学校徴収金の口座振替の取組や、学校徴収金の保護者の負担軽減に向けた徴収額の見直しの考察など、様々な問題意識をもって筋道を立てながら業務改善に取り組んでいた。

異動等で業務が変わる際、前任者の処理方法が、過去に経緯があり整理していることがあるので、私の場合、基本的には前任者と同じ方法で業務を行っていることが多いが、前任者の方法が効率的なのかを見極め、問題意識をもち業務改善につなげることも大事ではないかと、教育論文の作品を見ながら感じた。

武術家で俳優だったブルース・リーは、「心を空にしろ。型を捨て、形をなくせ、水のように。コップにそそげば、水はコップの形になる。ティーポットにそそげば、ティーポットの形になり、ボトルにそそげばボトルの形になる。水は静かに流れることもでき、激しく打つこともできる。友よ、水になれ。」(シャノン・リー著『友よ、水になれ』 亜紀書房)と言っている。先入観や固定観念といった型が何も役に立たない。状況に応じ臨機応変に対応できることが大事ではないかと思う。

私も教育論文での取組のように、今までの固定観念にこだわらず、情報をアップデートしながら業務の改善に向けて取り組んでいきたい。

令和6年度鹿児島学力・学習状況調査結果

令和7年1月14～24日の期間でCBTにより実施された鹿児島学力・学習状況調査の地区結果は以下のとおりです。中学校においては、数学と理科が県平均を上回りましたが、小学5年生では、全ての教科で県平均を下回り課題が残りました。国語、社会、英語については、全学年県平均を下回っており、特に社会については昨年から引き続き課題が見られます。

また、児童生徒質問紙の「学校の授業はよくわかりますか」という項目では、「当てはまる」と回答した割合が、学年が上がるにつれ減少しています。調査結果の詳細な分析を行い、学習者主体の授業実現に向けた授業改善をさらに推進していきたいと思います。

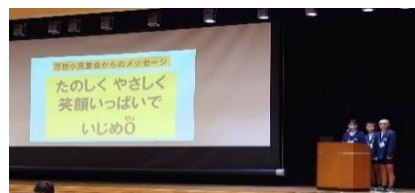
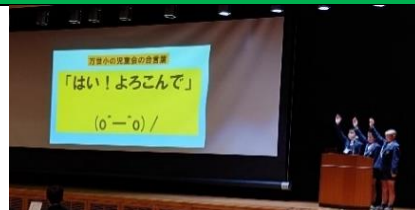
	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小学5年	62.3 (-2.3)	61.0 (-0.8)	63.7 (-1.9)	63.0 (-2.0)	
中学1年	61.1 (-1.8)	51.2 (-1.2)	48.5 (-0.3)	58.5 (0.6)	58.4 (-0.4)
中学2年	65.9 (-0.4)	44.1 (-2.9)	42.1 (1.2)	53.6 (1.2)	51.9 (-0.9)

※ 数値は令和7年2月27日時点の結果 ()の数値は、地区-県の差

鹿児島県いじめ問題子供サミット

令和6年12月26日（木）市町村自治会館において「鹿児島県いじめ問題子供サミット」が開催されました。このサミットの目的は、子供たち自身が語り合うことで、いじめを許さないという強い気持ちを持ち、自分たちの手でいじめゼロにしようという意識を高めるものです。

南薩地区代表として南さつま市立万世小学校の児童が、「たのしく やさしく 笑顔いっぱい いじめ0（ゼロ）」のメッセージと縦割り班で行う活動について、発表しました。「魅力ある学校づくり」を目指した、笑顔あふれる学校にしていこうという思いが伝わってきました。



「体力アップ！チャレンジかごしま」県及び地区表彰

令和6年度の南薩地区の学校申告率は昨年に引続き、小・中学校ともに100%でした。学級申告率も小学校96.5%、中学校100%と県と比較すると大変高かったです。また、地区重点種目としていた「のぼしてコロコロ」（柔軟性）へも小学校73.7%、中学校82.4%の学校が課題解決に向けて取り組んでいただきました。今後も積極的な体力向上に向けた工夫をお願いいたします。

	小学校	中学校
県：学校賞	枕崎市立別府小学校	枕崎市立別府中学校
地区：最優秀賞	南九州市立大丸小学校	枕崎市立立神中学校
地区：優秀賞	南九州市立別府小学校 南九州市立清水小学校	南さつま市立加世田中学校 南さつま市立大笠中学校
地区：特別賞	南九州市立知覧小学校	

たくさんの応募，ありがとうございました

本年度も，地区内の先生方から貴重な実践に基づいた286点の教育論文を応募いただきました。応募論文の中から10点を南薩地区教育論文集「研究と実践」第15号として各学校に電子データで配布しますので，今後の教育活動の参考にさせていただきます。

【教育論文集「研究と実践」掲載者】

南九州市立 別府小学校 田中 貴大 教 諭 (学級経営)	南さつま市立 川畑小学校 野崎 弘樹 教 諭 (社会科)
指宿市立 南指宿中学校 橋口 琉菜 教 諭 (家庭科)	枕崎市立 別府小学校 田中 秀輝 教 諭 (外国語活動)
枕崎市立 別府小学校 野浦 知生 教 諭 (総合学習)	枕崎市立 別府小学校 内田 由佳 教 諭 (特別支援教育)
南九州市立 川辺小学校 内村 光伸 教 諭 (教育方法改善)	南さつま市立 坊津学園 前野 理恵 教 諭 (読書指導)
南さつま市立 金峰学園 木場 華子 教 諭 (教育の情報化)	指宿市立 山川中学校 加塩 彩乃 栄養教諭 (その他)

【学校賞】

枕崎市立桜山小学校	枕崎市立別府小学校	枕崎市立枕崎中学校	指宿市立魚見小学校
指宿市立柳田小学校	指宿市立今和泉小学校	南さつま市立川畑小学校	南さつま市立益山小学校
南さつま市立坊津学園	南さつま市立金峰学園	南九州市立宮脇小学校	

【奨励賞】

枕崎市立枕崎小学校	枕崎市立桜山中学校	枕崎市立別府中学校	枕崎市立立神中学校
指宿市立丹波小学校	指宿市立山川小学校	指宿市立南指宿中学校	指宿市立山川中学校
南さつま市立万世小学校	南さつま市立小湊小学校	南九州市立青戸小学校	南九州市立栗ヶ窪小学校
南九州市立松山小学校	南九州市立川辺小学校		

南薩地区PTA会員等教育講演会

10月24日（木）に南薩地区PTA会員等教育講演会を開催しました。講師に株式会社ゆーりんプロ所属で鹿児島市出身の桑木栄美里氏をお招きし、講演をしていただきました。講演では、「逆境を乗り越え夢を掴むまで」と題して、声優・ナレーターという表現者としての道を目指すきっかけや、自分を支えてくれるサポーターという存在を、御自身の経験を基に、分かりやすくお話してくださいました。



特に、自分の声の特徴、そして放送するという魅力に気付かせてくれた小学校の恩師やハンディキャップにくじけそうになったときに支えてくれたバレエの先生、否定することなく常に前向きな言葉掛けをしてくれる家族のエピソードにおいては、参加者が日常生活の中で子供たちと接する上で大事にしなければならないことについて、改めて考えるきっかけを与えてくださいました。また、夢を実現させるための方程式「夢への実現＝自分との対話×自分のサポーター×正しい情報＋α」や可能性を秘めた子供一人一人を尊重することはもちろん、子供が挑戦したことや達成できたことに対して称賛することの大切さについて、分かりやすく示してくださいました。



参加者からも「子供たちと関わる上で参考にしていきたい。」「自分の子育てを顧みるよい機会となりました。」「障害のある子供の保護者として勇気をもらいました。」など、多くの感想をいただくことができました。

南薩地区自治公民館経営研究会 兼人権教育ブロック別指導者研修会

8月27日（火）に南薩地区自治公民館経営研究会兼人権教育ブロック別指導者研修会を開催しました。講師に県人権同和对策課の人権研修推進委員の常深透氏をお招きし、講話をしていただきました。講話では、「誰もが幸せに生きるために～無意識の思い込みはありませんか？～」と題して、人権感覚を研ぎ澄ますために必要なことや部落差別（同和問題）の現状、我々を取り巻く様々な人権問題について、事例を交え分かりやすく話ししてくださいました。



特に、同和問題については、過去の問題ではなく現在も解決が必要な大きな課題であることを再認識することができました。また、アンコンシャス・バイアス※1やマイクロアグレッション※2については、私たちが無意識のうちに周囲の人々に対して偏見や差別的な態度、攻撃的な態度をとってしまうことがあることを、例を元に分かりやすく示してくださいました。



参加者からも「自分の人権への意識を深めることができた、人権感覚を磨いていきたい。」「人権問題について改めて考える良い機会だった。」など、前向きな感想をたくさんいただくことができました。

※1 アンコンシャス・バイアス… 無意識の思い込み、偏見こと

※2 マイクロアグレッション…… 無意識の思い込み、偏見が言葉や態度に表れ、否定的なメッセージとなって伝わり、意図せず誰かを傷付けてしまうこと。

県・地区指定研究公開及び研修会

○ 令和5・6年度県教育委員会指定研究協力校「学びの変革」研究公開 【 南さつま市立坊津学園（9/25） 】

研究主題 児童生徒の活力を引き出し、確かな学力を育む手立ての研究
～自信をもって表現できる児童生徒目指して～

南さつま市立坊津学園では、「学びの変革」を「児童生徒が主役となるように学習者主体の授業を目指し、協働的な学びを中心とした授業改善に取り組むこと」と捉え、令和5年度から2年間、研究に取り組んできました。

特に、協働的な学びを進めるに当たっては、コミュニケーション能力や自分の考えを論理的に分かりやすく表現する力が必要なため、授業の中で対話活動の工夫や発表（説明）の工夫、記述の場の設定等に取り組んでいました。

当日は、4年生算数科と8年生国語科の授業が公開され、児童生徒一人一人の姿に着目した授業研究が行われるなど、とても充実した研究公開となりました。



県PTA活動研究大会南薩大会・県PTA活動研究委嘱公開枕崎市大会 【 事例発表：枕崎市立枕崎小学校・枕崎中学校（12/7） 】

研究主題 地域のつながりを最大限に生かした枕崎ならではの
持続可能なPTA活動はどうあればよいか

「火の神乙女太鼓」のアトラクションの後、枕崎市立枕崎小学校と枕崎中学校が事例発表を行いました。PTA会員が減少する中で、組織改革や地域とのつながりを深める活動など、他のPTAにおいても参考になる内容でした。

大会を通して、社会が大きく変化する中でのPTAの在り方、その存在意義を改めて考えるすばらしい機会となりました。また、高校生による全体進行も新鮮で、地域との強いつながりを感じることができた大会となりました。



○ 令和5・6年度地区指定・枕崎市教育委員会研究公開「小中連携教育」
【 枕崎市立枕崎小学校・枕崎中学校（10/23） 】

枕崎市立枕崎小学校，枕崎中学校では，主体性の育成及び自己肯定感の高揚を目指し，地域・家庭との連携の充実に向けた取組や授業における小学校と中学校の接続を意識した共通実践を積極的に行っています。令和6年10月23日（水）に行われた研究公開では，小学校4年生の社会，中学校3年生の国語の授業が公開されました。実践発表や授業参観，研究協議をとおして，小中連携の在り方等について学びを深める貴重な機会となりました。



○ 地区道徳教育研修会

【 南九州市立知覧小学校(10/10)・知覧中学校(10/18) 】

両校に共通していたのは，対話や議論を活性化させるためにタブレット端末をツールとして活用していた点です。アンケート結果の可視化や互いの考えの共有など，道徳科におけるICT機器の有効活用について多くのヒントを得られた研修会でした。令和7年度は枕崎市立立神小学校，桜山中学校で開催されます。



○ 令和5，6年度県教育委員会指定「運動大好き“かごしまっ子”」育成推進事業
【 指宿市立南指宿中学校（11/13） 】

指宿市立南指宿中学校は，「主体的に運動に取り組み，体力の向上を図る生徒の育成～教科体育の充実と運動に親しみたくなる環境づくりを通して～」を研究主題とし，動きの変容に気付く学習過程の工夫や対話活動，準備運動の開発などの教科体育の工夫，生徒会活動等学校生活全体，家庭及び地域との連携などの教科外での取組などの研究を進めてきました。研究公開では，ハードル走を行い，ICT機器を使用した対話活動の工夫や運動量の確保のための場の設定の工夫があり，生徒が生き生きと活動していました。



【南中体操QRコード】